



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

トピックス

「箕面体験学習の森」整備事業（箕面森林環境保全ふれあいセンター）

1. 取組の趣旨

箕面国有林を含む北摂地域は、かつて池田炭と呼ばれる茶道用の菊炭が生産されるとともに、オオクワガタなどの昆虫類が数多く生息するクヌギなどの落葉広葉樹林が広がっていました。

当センターでは、当該地域の国有林において積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、子どもたちを対象とした森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資するため、平成19年度から「箕面体験学習の森」の整備を開始しました。

整備は主に「箕面体験学習の森（エキスポ'90みのお記念の森）」の中心にある展望台の周辺において、かつての森を再生するため、ヒノキ、スギ林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を目指し、子どもたちの将来目標として分かりやすい取組となるよう「オオクワガタの棲める森づくり」と命名しました。

2. 具体的な取組

本年度冬期に約2ヘクタールを伐採し、その後植樹することとしているため、平成20年度秋から植樹するクヌギ、コナラなどの苗木の育成に取り組んでいます。

平成20年度は、箕面市内の3小学校と5幼稚園で、どんぐり拾い、ポットへの埋め込みを行い、延べ582人の参加がありました。また、地域住民には、市民イベントや図書館のイベントなどを通じ苗木の育成を呼びかけ、252組から賛同が得られました。

平成21年度も引き続き箕面市内の小学校、幼稚園で取り組んでおり、11月2日に萱野北小学校と豊川北小学校の合同イベントとして箕面国有林エキスポの森に来て、どんぐり拾い、ポットへの埋め込みを行うとともに兵庫県立大学の服部保教授から「どんぐりからの森づくり」として昔の里山や昆虫、どんぐりの話をしていただいたり、昆虫ベッドに入れる落ち葉拾い

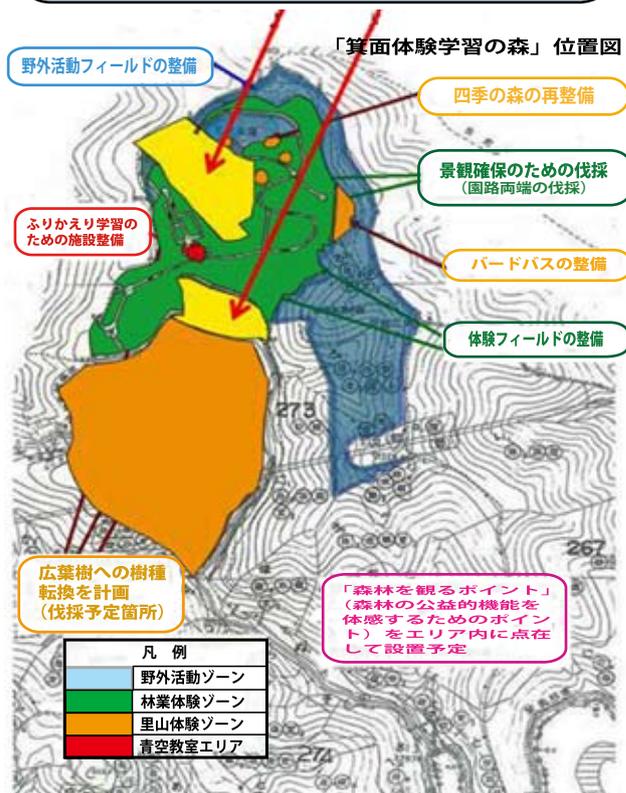
や木工クラフトも体験し、先生から「たいへん楽しい体験ができ子どもたちも喜んでおり、これからもずっと記憶に残ると思います。」との感想が聞かれました。

また、11月17日に西南小学校、19日とどろみ幼稚園、12月15日せいなん幼稚園、かやの幼稚園、16日なか幼稚園、17日ひがし幼稚園でもどんぐりのポットへの埋め込みを行っています。

今年春、箕面国有林に苗木を育てている方々が集い植樹行事を開催することとしています。

今後ともボランティア団体や教育機関、地域住民の方々と連携を図りながら、子どもたちの森林環境教育のフィールドとして長期にわたって有効に活用できる取組を続けていきたいと考えています。

オオクワガタの棲める森づくり



保護林モニタリング調査を実施

【計画課】 近畿中国森林管理局では、国有林野内における貴重な自然環境としての天然林等を保護するため、6種類74箇所の保護林を設定しています。

これらの保護林については、地域管理経営計画等を策定する1年前にモニタリング調査を行い、その結果を計画に反映させています。

調査は保護林の種類や設定目的等を勘案し調査内容を定め、保護林の現況を把握するとともに、調査結果を基に学識経験者等により保護林の現状について評価を行い、保護林ごとの管理方針の見直しを行っています。



コウヤマキ植物群落保護林（和歌山県：高野山）

この調査は、平成19年度から5年間で全ての保護林を調査することとしており、今後、5年ごとに調査が実施されれば、保護林の状況変化がデータとして蓄積され、保護林の植物相や動物相の変化を把握できるようになり、状況の変化に応じた保護林管理のための対策が講じられるようになります。

当局では、このデータ等をもとに今後も引き続き貴重な動植物等の保護管理に努めます。

地域ニュース

森林生態系保護地域自然観察会を開催

【鳥取森林管理署】 大山森林生態系保護地域は、大山周辺の原始的な国有林を保存することによって、森林生態系の保全、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存などに資することを目的として、平成4年3月に設定されました。

設定に併せ、近畿中国森林管理局では、森林の生態、大山の地形・地質や動植物に詳しい専門家10名（現在9名）を「森林生態系保護地域保全管理協力員」として委嘱し、保全管理活動の一翼を担っていただいています。

保全管理協力員と森林管理署では、森林生態系保護地域での取組をより多くの方々に理解していただくために毎年秋季に自然観察会を開催しています。

10月26日は新聞公募等により応募した15名が、大山寺から^{こうえんざん}豪円山に向かうブナ原生林を経て大神山神社へ至るルート^をを散策しました。

当日は、台風接近の影響で小雨模様の天候となりましたが、保全管理協力員の先生による植生、野生動物、大山の歴史・文化を交えた軽妙洒落な解説に参加者皆熱心に耳を傾け、時には質問や感想を交わし、講師を囲む輪から感嘆の声が聞こえるなど終始楽しげに、秋雨にけむる大山独特の趣の中で深まる秋の自然を満喫しました。



「森林生態系保護地域保全管理協力員」の方々の協力を得て開催された自然観察会

雨脚が強まった終盤には、大神山神社奥宮のご厚意で重要文化財の社殿にて雨をしのぎ、白壇塗りの柱や鴨居から成る拝殿を見学。その荘厳な雰囲気と由緒ある歴史に浸りました。

麓へと続く石畳の参道を下る頃には雨も上がり、満足度満点の自然観察会も閉会へと向かいました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>

緑の募金公募事業を活用した「植樹の集い」開催

【鳥根森林管理署】 当署と国有林の森林保護等の活動を展開している「ボランティア高津川森の会（会長 大野勉）」が主催する「植樹の集い」が益田市に所在する若山国有林を会場に開催されました。

当日は鳥根森林管理署の職員、OB職員並びに会員及び地元喜阿弥自治会の方々の協力のもとに約100人が参加。クヌギ・ヒラドツツジ・サカキ合わせて300本を植樹しました。

開会にあたって大野会長が「今年も地元自治会の方々をはじめ関係者の協力のもとに行う事が出来ました。皆さん楽しんで植樹をしましょう。」とあいさつ。続いて、喜阿弥自治会会長 森内博氏が「この植樹の集いは毎年楽しみにしている。私達が植えた木が数十

後に大きく成長することは、私達の思い出となり、とても意義のあることだと感じる。」、当署長が「世代をこえた交流、また森林との交流をふまえて森林の役割等を知ってほしい。」とあいさつしました。



植樹記念標柱を埋設する参加者

開会式のあと、植樹の説明を受け、家族連れや近隣所同士で植栽する区域に移動し周囲の苗木の間隔を確かめながら、植樹を開始。

スコップで植穴を掘り、1本1本丁寧にバーク堆肥と真砂土を混ぜた土を入れ、表土が乾燥しないように落ち葉等を被せて、支柱と苗木を紐で結びつけて出来上がり。

途中から雨の降る中での作業でしたが植樹後には、おにぎりと豚汁をつくって頂き、冷えた体も温まりました。いろんな世代の方と交流を深めることができ、充実した1日となりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/shimane/>

『オープンスクール』ゲストティーチャー

【奈良森林管理事務所】 当所近隣に所在する京西中学校において、1年生30名を対象に「森林教室」を開催しました。

京西中学校では「総合的な学習の時間」として、人生の先輩方に様々な貴重なことを教えていただきながら、こころの財産を培うことを目的に、地域で活躍されている皆様を招いてオープンスクールを開催しているところであり、当所職員もゲストティーチャーとして授業を行いました。



国有林の仕事で使う道具の紹介



授業を熱心に聞く生徒達

当所職員からは、日本の森林の現状と森林の大切さについての講義、地球温暖化防止のための森林の役割を理解するためのヒノキの輪切りを利用した二酸化炭素の吸収量の計算、木の小枝を利用したアクセサリー「モックン」づくりを行いました。

生徒は、メモを取りながら職員の話熱心に聞くと

ともにヒノキの輪切りの温もりを感じていました。

また、「この仕事をしていて一番うれしかったことは何ですか？」の質問に対し講師から、「山は良い空気、透き通った水が流れています。きれいな植物も沢山見られます。そこで仕事ができることは一番うれしいです。皆さんも是非身近な山に行ってみて下さい。」と答え、山のすばらしさをPRし終了しました。

後日送られてきた感想文には、「間伐を行うことによる大切な役割が心に残っている」「空中写真が立体になってとてもおもしろかった」「モックンが弟、妹になかなか講評で、作り方を教えてもらううれしがっていました」等の感想が寄せられました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

宝塚自然休養林クリーンハイキングに参加

【兵庫森林管理署】 今回で第31回目を迎える自然休養林クリーンハイキングが宝塚市の北中山国有林（宝塚自然休養林）で行われ、関係者、一般参加者を含めた約200名がゴミを拾いながらハイキングコースを歩きました。

途中にある景勝「夫婦岩」では写真撮影をしたり、前方に広がる武庫川平野の眺望を楽しみ、また、中山寺奥の院ではカエデなどの色鮮やかな紅葉に見入る光景がみられました。

毎年、クリーンハイキングを実施しているため、落ちているゴミも少なく、参加者たちは自然休養林の散策を満喫した1日となりました。



自然休養林内にあるゴミを拾いながらハイキングを楽しむ参加者



関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hyougo/>

田辺市農林水産業祭典への参加

【和歌山森林管理署】地域の祭典として田辺市農林水産業祭、龍神翔龍祭、本宮町こだま祭が各地で盛大に開催されました。当署からは丸太切り、つる籠作り、木製アクセサリー作り、どんぐり笛・根株・シイタケほだ木の販売等による参加を行い、祭典の盛り上げに一役買いました。

木製アクセサリー作りは、多くの子供たちに大人気で、どんぐり・松ボックリ・枝木を使った思い々の可愛いアクセサリーが出来上がると満足そうに微笑んだ顔が印象的でした。

いずれの催しも森林の恵みを子供から大人まで感じてもらうことができ、当署のPRに繋がる有意義なイベントとなりました。



大人と一緒にアクセサリー作りをする子供達

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama/>

お知らせ

次期森林計画についての検討方向に対する意見募集について

【計画課】近畿中国森林管理局におきましては、「管理経営基本計画」に即し、森林計画区毎に、国有林野の管理経営に関する基本的事項を定める「地域管理経営計画」を5年毎に策定しています。

平成22年度は、越前、由良川、北山・十津川、北伊勢、紀中、高梁川上流、高梁川下流の7つの計画区において、次期計画（平成23年4月～平成28年3月）を策定することとなっており、これに先立ち、皆様から、次期森林計画の策定にあたっての検討方向についての意見を募集します。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/keikaku/iken-boshuu.html>

平成22年度 災害復旧調査業務の契約対象者の公募

【治山課】本公募は、大規模災害発生時における山地災害及び施設災害等の災害復旧調査業務の契約対象者を予め選定しておき、災害発生時に復旧調査契約を迅速に締結することにより、災害の早期復旧に資することを目的とするものです。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/nyusatu/tyoutatu/koubo.html>

「国有林材の安定供給システムによる販売」の実施に係る公募

【販売課】一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取り組みを支援します。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。



<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/wood/>

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

平成22年4月から平成23年3月末まで、近畿中国森林管理局庁舎耐震工事のため、「森林のギャラリー」は休館します。

つきましては、平成22年度の「森林のギャラリー」利用団体の募集を行いませんのでご了承ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/>